

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件抗告の趣意は、違憲をいうものの、理由についての具体的な主張を欠き、抗告期間内にその補充もなされないから、適法な抗告理由にあたらない。

よつて、刑訴法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四八年一〇月一日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	藤	林	益	三
裁判官	下	田	武	三
裁判官	岸		盛	一
裁判官	岸	上	康	夫